



西川町 議会だより

元気に「ハイッ!!」
西川小学校入学式

2014.4.15 88号

発行 山形県西川町議会

3月定例会報告	2頁
予算審査	6
一般質問	9
議会の動き	12
追跡調査 町民体育館の検討	13
常任委員会活動報告	14

第6次西川町総合計画

実施計画は示されたけれど

平成26年3月定例会は、3月5日から14日までの10日間開催されました。

町からは、平成25年度一般会計補正予算、平成26年度各会計予算の承認を求める案件をはじめ、1件の人事案件、1件の条例制定、3件の条例改正などが提出されました。

また2件の請願が提出されましたが継続審査となりました。一般質問は6人の議員が8件について行いました。

議員 第6次総と5次総の継続をリレーに例えれば、バトンを受け継ぐ人はラインで待つてはいない。次に行く

町長 まずは災害復旧と耐震化対策だ。それと併せて第5次総の積み残しの部分がある。第5次総が終わって、第6次総の出発点というようにきちんとしていく。まだまだ継続性のある部分もある。第6次総に踏み切ったものであり、今回の予算になった。

議員 総合計画の実施計画も提示されたが、6次総をスタートするという意欲が感じられない。予算額が50億を超え、単に災害復旧と役場の耐震化だけではないのか。

スピード感のある対応を

議員 総合計画の実施計画も提示されたが、6次総をスタートするという意欲が感じられない。予算額が50億を超え、単に災害復旧と役場の耐震化だけではないのか。

具体的な取り組みが見えない 初年度予算

新しい目標を掲げた町づくりの初年度という重要な時期なのに、今年度の予算からは、新しい町づくりに対する意欲が感じられません。議会では、第6次総合計画が、確実に実施されるように、町民の代表としてしっかり監視してまいります。

予算特別委員会では、計画の進め方について質問を行いました。

総合計画実施 予算の目玉が 災害復旧？

議員 第6次総の実施にあたり、町長の立場として、26年度の予算の中でこれは目玉というものは何か。

町長 目玉というか、予算額としては、災害復旧が最優先だと思っている。あとは、少子高齢化の子どもの対策、こういったものも含めて、いろいろなものがあるが、予算に

「町長の決意」も 町民の皆さんとの 検討事項？

示したとおりだ。

議員 今後10年間これをやるという、全体的にもっと意欲のある予算が欲しかった。ぜひ、町長の「これをやる、こういう方向に持っていく」という決意がほしい。

町長 この計画は、行政主導ではない。将来が見えないというが、7つのリーディングプロジェクトを立ち上げ、町民の皆さんと検討しながらやっていくと示している。

ために走り出す。そこにバトンを持った人が駆けてくる。スタートラインで待っているのはスピード感がない。職員も人数が少なく、大変だろうが、やはり、水面下で第6次総

のスタートに向けた事業を、同時並行に進めなければスピード感がでない。ぜひ、今後の施策を具現化するにあたってそのような方向でやってもらいたい。



▲高齢者大学 趣味も健康づくりのひとつです

第6次総実施計画予算をみると（抜粋）

単位：万円

施策名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度
西川町版幸福指標の創設	186	0	0
健康寿命の延伸と健康格差縮小	6,531	6,193	5,923
高齢者の住みよい環境づくり	6,935	6,823	7,858
IJUU ターン対策	105	205	1,105
適切な森づくりと再生・施業	470	515	380
木材の活用	105	55	50
地域資源活用型再生エネルギー	1,875	2,379	5,129
自然教育・学習の推進	399	6,714	1,637
女性が社会進出しやすい環境の整備	0	30	30

- 世界178国の中で日本は90位、47都道府県の中で山形県は19位
- 町民の意識を高めるなら、同額予算で同じことをやっているのはだめだ
- 高齢者が暮らしやすい町はだれにとっても暮らしやすい町だ。計画は速やかに進める必要がある
- 暮らしが成り立つ町づくりを急がないと定住はできない
- 林業の復活が課題だ
- 薪ストーブと軽トラ林業だけでは活気づかない。検討が必要だ
- 調査だけでなく、実践が大事だ
- これまでの取り組みも素晴らしいが、拡大することは大事だ
- 地域でも町でも女性を登用しないと何も変わらない



▲元気な子どもたち「みんな集まれキョウリュウジャー！」

事業の進め方も、町民の皆さんからこの計画を理解してもらって、町民総がかりでやっていく。

町民の皆さんからも指摘があったが、これまでの計画は、先が見えない、町民が頭に描けない計画が非常に多かった。

これからは町民の皆

さんが頭に描ける町づくりをめざす。それが今回の計画にある「キラリ月山」だ。月山は西川町の宝であり、キラリは月山だけでなく、個人も地域も町も、それぞれがキラリと光るものを持つ、誇りを持つということも含めた計画だ。理解してもら

役場の防災拠点機能を強化 ベランダに太陽光発電パネル設置



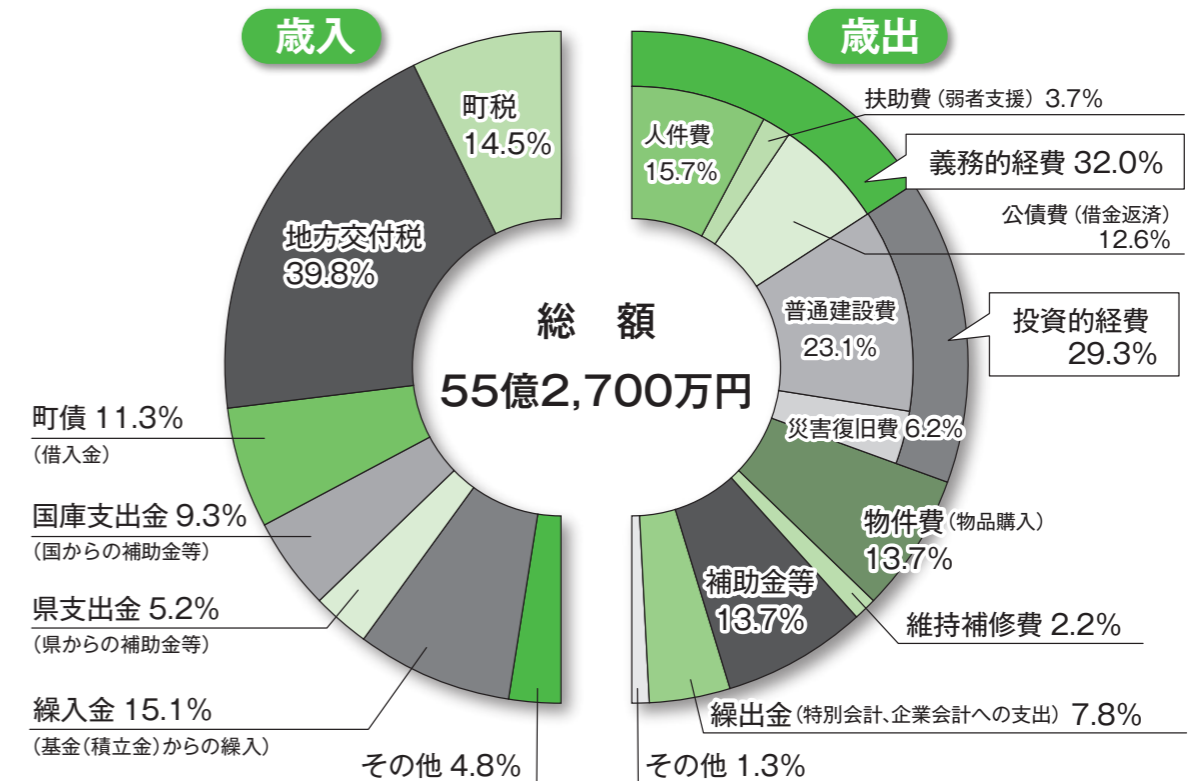
▲太陽光発電パネル設置
予定の庁舎南側

見直し、道の
駅や直売所、
観光案内所な
どの利便性向
上を図る取組
みの実施計画
に1千327万円。
※メソネット式
一戸の中に2階を
有する間取りがあ
るもの

平成26年度一般会計・特別会計・企業会計について、全員賛成で可決しました。
一般会計の総額は、25年度当初比26.2%増の55億2千700万円という増額編成予算となりました。
主な事業としては次のとおりです。
昭和48年に建設した役場庁舎の耐震工事で、構

造の軽量化の他に、エレベーターの設置等による利便性の向上や太陽光発電パネルで非常用発電を確保し、防災拠点機能を強化するなどの事業に5億8千455万円。
「みどり団地」内にメソネット式町営住宅を2棟10戸建設する事業に2億1千535万円。
月山銘水館周辺施設を

◆一般会計予算の構成



大井沢地区水田畑地化整備事業計画の策定

大井沢地区内の水田5.5haを畑地化することにより転作物であるソバ、カボチャ、リンドウの生産量と品質を向上させることができる。

また、農産物の収穫やそば打ちの体験等を盛り込んだ交流事業を実施し、地域農業の推進と農村集

落の活性化をはかるため、2千300万円の事業費で平成26・27年度の2年間事業を実施する。
(全員賛成)

町道沢入線(吉川地内)道路災害復旧工事請負契約の一部変更

設計の一部を変更して実施する必要があるため工事請負契約額を5千250万円から5千79万1千650円に減額する。
(全員賛成)

条例の設定・一部改正

☆西川町学校教育センター設置条例
地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき機能として設置するための条例
(全員賛成)

☆消費税法等の一部改正に伴う関係条例の整備に関する条例

消費税法等の一部改正

に伴い、使用料等を改正するための条例
(賛成8、反対1)

☆議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例
☆西川町障害程度区分判定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例

2つの条例については、障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律の一部改正に伴い規定の整備を図るため。
(全員賛成)

議会推薦の農業委員

伊藤 哲治 議員
(賛成7、反対1)



平成25年度補正予算

一般会計、特別会計、病院事業会計の補正予算は全員賛成で可決しました。
一般会計は、歳入歳出にそれぞれ1億4,340万5千円を追加し、50億2,351万5千円となりました。

主な補正予算 一般会計

増額		減額	
帳票印刷等	148	木質バイオマス調査事業	△ 200
子ども子育て支援新制度対応システム改修	289	道路台帳補正委託	△ 243
特産品販売システム整備	△ 861	町内会照明灯電気料補助	10
灯油代補助金	200	貫見間沢線急傾斜対策工事	650
介護給付等	△ 232	町道除雪委託	2,150
障害者自立支援費等国への返還金	88	水沢線改良補修	△ 1,200
国保特別会計への繰出金	512	町道改良	1,150
老人福祉センター運営補助 (燃料代高騰分)	70	コーポ陸合修繕	28
介護保険特別会計への繰出金	763	町民体育館実施設計等委託	△ 2,765
子宮頸がんワクチン	△ 223	町道等災害復旧事業	△ 3,950
病院への繰出金	6,000	公共土木施設災害復旧	18,410
青年就農給付金等	△ 220	農業施設災害復旧	△ 3,000
森林 GIS システム事業	△ 235	林業施設災害復旧	△ 2,651

平成26年度の予算を 審査しました

平成26年度予算は、特別委員会を設置して、5日間にわたり慎重に審査した結果、すべて可決しました。

特別委員会の中の主な質疑は次のとおりです。

総務課

避難所の備蓄物資

問 避難所への備蓄用アルファ米と備蓄物資の配分先は決まっているのか。

答 決まっていない。最大避難者50名を想定し550食を準備した。備蓄品は、日赤からの毛布等がある。土どろり袋は希望する地区に配布したい。



▶アルファ米

災害のための活動補助金

問 山岳遭難救助の日当5千円は少なくないか。また、装備品は個人で準備しているが、町で準備する必要はないのか。

答 活動補助金の増額がいいのか、装備品の対応がいいのか来年度検討したい。

政策推進課

町制施行60周年記念

問 町報の縮刷版は、注文を受けて販売するのか。また、販売価格はいくらか。

答 注文を取り1部3千円で販売する予定だ。印刷代は1部9千円ほどになる予定だ。

移住者の受入れ

問 農業をしたい人が空き家を利用する場合は産業振

興課に相談することになるが、関連各課と連携は図られているか。

答 受け入れることは、その人のライフスタイルを抱えることになる。縦割りでは不親切だ。教育や医療、産業など、連携のある対応をしたい。

健康福祉課

温泉の無料開放

問 月2回行う無料開放はこの温泉で、だれが対象になるのか。利用人数の確認は行うのか。

答 海味、水沢、大井沢、志津の各温泉を、町民の方には無料にする。利用にあたっては地区名、氏名の記入程度にしたいが、具体的な方法は今後詰めていく。

産業振興課

人・農地プラン

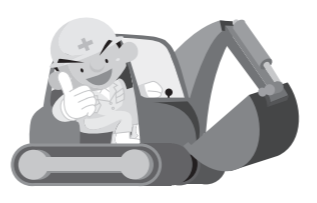
問 人・農地プランに係る予算が多額になっているがその内容は。

答 新規就農給付金が一人年間150万円×3人で450万円計上しているからだ。地図などの作成経費は30万円だ。

豪雨災害復旧費

問 災害復旧事業は、26年度に完了できない場合は、27年度に繰り越していいのか。

答 春に確認して追加があれば、一緒に手掛ける。26年度に完了しない場合は繰り越す。



モニターの声 質問した人と回答した人の氏名は書いた方がいいと思う

町総合交流促進センター (月山銘水館)の維持管理

問 委託料が800万円であり、昨年度に比べて100万円増加しているが、その理由は何か。

答 電気と灯油等の燃料代の値上げと消費税分だ。

商工観光課

就労支援

問 新規卒である町民が町内企業に就職した場合は10万円、町内に住所を有しながら町外に就職した場合は3万円支給するとしているが、町外就職も10万円にできないか。

答 町内雇用促進の観点から差をつけた。

観光協会の機能強化

問 今定例会で「月山朝日観光協会のあり方」について、議会が事務調査報告を行なったが、26年度予算に反映させる考えはあるか。

答 営業職員、事務職員の確保ということで40万円計上している。議会からの報告を受けたので、予算の増額計上等も検討する。

建設水道課

公園管理費

問 睦合アネスコートの利用が少ない。今後の利用見直し等内部検討はしているのか。

答 睦合アネスコートの利用者は年1件程度だ。地元から大規模なリニューアル計画が出されているので、検討することを考えている。

施設管理委託

問 道の駅、月山湖大噴水等の各施設の委託先と委託費はいくらか。

答 道の駅トイレを19万円、水の文化館を1千200万円、大噴水打ち上げ案内等を42万円、西川町総合開発(株)に管理を委託している。大噴水の維持管理点検についてはクボタ機工(株)に1千100万円を委託している。

防犯灯LED化

問 防犯灯LEDは町民から好評だが、世帯数あたりの負担に格差がある。苦慮している地区もあるのか。配慮できないか。

答 地区ごとの人口当たりの負担は違っているが、そこまで平等な扱いをするに電気代の負担まで及ぶ。これまでの方式としたい。

町民税務課

鉱山跡の管理

問 小山鉱山(間沢川地区)創業当時、掘削した鉱石の重金属を含む残土を山に堆積しているが、松ヶ沢の堆積の状況はどのような経過で危険とされ、今後どんな対策が必要なのか。

答 東日本大震災後、国がボーリング調査して報告書が提出された。直下型地震が発生した場合、間沢川の下流に流れる危険があると判断されたため、対策が必要となった。今回は設計管理委託だが、予想として数千万円の工事費になると思われる。

学校教育課

学力向上支援員の配置

問 中学校の学力支援員配置の予算額が17万4千円だが、少なくないのか。支援はどのように行うのか。

答 先生は部活動も持っている忙しい。それを補うために、夏休み時に6時間の補習を5回、11月から2月にかけて2時間の補習を3回、教員免許のある人に補習授業を行なってもらいたいと考えている。



▶LED化が進む町内の街灯

生涯学習課

町史ダイジェスト版

問 町史ダイジェスト版作成に当たり誰にでも販売できて、観光面でもいかなるようにはどうか。

答 郷土史調査員に、小学生が学習できるようなものを考えてもらう予定だ。寒河江市ではすでに作成しているの、参考にしたい。史実をしっかりと伝えることで、観光にも使えると思う。

集会施設の整備

問 公民館改修工事への補助を3分の1から2分の1に引き上げたが、今後はこの補助率で行くか。また、県等の補助金が入った場合でも町で補助するのか。

答 今後は規定を改正して2分の1とする。他の補助金が入っても町が費用を負担した例がある。有利な補助事業を見つければ実施したい。

病院事業会計

病院施設リニューアル

問 病院施設内の薬局を2階に移動することや、身体障害者用トイレをつくることになっているが、ト

答 イレは何か所つくる予定か。待合室を広くする。トイレは、1階と2階につくる予定だ。

問 2階に薬局とトイレをつくることで、病床数を8床減らして43床にする計画のようだが、補助金等は減額になるのか。

答 地方交付税等が、1床あたり50〜60万円の計算になっているので、総額で約480万円ほど減額になる。



▲ 薬局は2階病棟に移転します

簡易水道特別会計

水道使用料

問 使用料が69万1千円増えているが、理由は何か。簡易水道を利用している戸数と利用者の負担額は。

答 増額は、消費税の増を見込んだものだ。利用戸数24戸で、1か月あたりの使用料平均額は3千804円だ。

介護保険特別会計

居宅介護サービス

問 居宅介護サービス給付金が1千836万3千円増えているが、サービスを受ける人数はどれくらい増えたのか。

答 利用者は平成25年度当初の103人から年度末には117人になり、利用件数は昨年より300回以上増えている。

公共下水道会計

一般会計からの繰入金

問 一般会計から多額の繰入金が入っているが、下水道への加入戸数と加入率は。

答 加入戸数は70件、加入率72.2%となっている。

特別給付

問 介護用品の支給やヘルパー派遣等の特別給付には国県等からの助成はあるのか。

答 特別給付は町の単独事業だ。県内では3町村のみが実施しており、国県からの支援はない。

一般質問

6人の議員が、次のことについて一般質問を行いました。議会だよりには、1議員1項目のみの掲載となりますので、詳しくは町のホームページの中にある3月定例会録画中継をご覧ください。

- 伊藤 哲治 議員 ◆平成26年度当初予算と第6次総合計画の関連について基本的考え方を問う
- 宮林 昌弘 議員 ◆第6次総合計画の重要事業と実践体制づくりをどう進めるのか
- 奥山 敏行 議員 ◆計画的財政運営と健全化対策と実行力のある組織整備
◆大江町・朝日町・西川町連携で山岳観光の発信を
- 飯野 咲子 議員 ◆西川町の保健医療福祉施設について
◆西川町非常備消防団について
- 佐藤 耕二 議員 ◆雪対策と危機管理について
- 横山 修 議員 ◆地域資源活用型再生可能エネルギーを積極的にいかすべき

総合計画 26年度予算と総合計画の関連の基本的考え方は

町長 計画初年度であり、重要な位置づけにある

問 ① 第5次総合計画の終了に伴い、積み残された多くの課題をどのように整理・総括し、今後の町づくりに反映させるのか。
② 26年度予算、財政が厳しい状況の中で、前年より26.2%に上る大幅な増額予算を組んだ意図は何か。どんな施策に優先的に取り組むのか。
③ 第6次総合計画「キラリ月山・健康、元氣、にしかわ」の目標実現の初年度として位置づけ予算を編成したとあるが、各種施策を具体的にどう展開するのか。

答 ① 生活環境や、存続できる地域環境の整備、所得の確保、若者に夢を、女性の力の活用、自治体経営などの課題があり、解決に向けた方向性と手立てを第6次総て述べている。
② 厳しい状況ではあるが、豪雨災害復旧を早急に行う。役場庁舎の耐震化と改修工事、町営住宅建設等は計画的に予定してきたものであり財源確保を図ってきた事業だ。
③ 計画初年度であり、重要な位置づけにあると考えている。3つの町民運動の展開を開始するために、町づくり基本条例の制定、西川版幸福指標の創設、現役80代宣言を行なっていく。



伊藤 哲治 議員



▲6次産業の取り組み 原料も加工も町内産の Pasta

町づくり基本条例の制定、西川版幸福指標の創設、現役80代宣言を行なっていく。



飯野 咲子 議員

消防団 消防団員報酬の引き上げを

町長 報酬は近隣市町を参考に定めている



▲救急救命研修会

問 消防団の定数は300人であるが、実態はどうなっているか。団員の活動は、消火活動はもちろんのこと、地震や風水害、がけ崩れ等の災害活動、消火器の講習、火の用心や災害に対する広報活動など、地域コミュニティの維持、振興の重要な役割を担っている。団員の年額報酬は1万6千円だが、地方交付税に措置されている額は3万6千500円だ。成り手の減少もあり、報酬引き上げを実現すべきではないか。

答 消防団員は27人で、定数より不足している。団員報酬は、団員1万6千円、班長2万9千円、部長5万5千円、分団長7万円、団長17万5千円で、平均2万1千600円となる。また、出勤手当では1回1千200円、大会訓練手当では分団一部あたり10万円、その他退職手当、指導手当、共済負担金などがある。報酬については近隣市町を参考に定めている。団員の確保対策は報酬もあると思うが、郷土愛精神の醸成と魅力ある団活動が重要と考えている。今後とも地域の方々に協力をお願いしていく。

町長 報酬は近隣市町を参考に定めている



宮林 昌弘 議員

総合計画 重要事業と実施体制づくりをどうするのか

町長 丁寧に協働の町づくり体制を整備していく



▲ケーシーフレーム(株)社長から話を聞く産業建設常任委員

問 第6次総が夢物語にならないように、重要事業と実施体制づくりについて、① 本町の政策課題である人口減少、少子高齢化、産業振興と雇用創出、所得確保対策をどう進めるのか。② 職員の新旧交代期であり、即戦力と実行力養成と協働の町づくり体制をどう進めるのか。③ 7つの主要事業の推進にあたり、専門家の実務指導と産官学連携をどう進めるのか。④ 地域づくり計画と町づくりの連動をどう進めるのか。

答 ① 最大の課題は定住人口の維持だ。そのために、「みんなが主役・まち自慢・現役延長」の3つの町民運動を提唱し、事業展開を行う。② 職員は、政策課題の解決ができる実行力を養成し、退職者の再任用も行う。丁寧に協働の町づくり体制を整備していく。③ 第6次総で指導助言をしてもらった有識者には引き続きお願いする。同時に、実践的観点からのアドバイスを得られる体制を整備する。④ 地域づくり計画はあくまでも地域が主体的に実施していく計画だが、要望事項等もあるので、毎年ヒアリングをして行政施策に反映していく。

町長 丁寧に協働の町づくり体制を整備していく



佐藤 耕二 議員

雪対策 高齢者の暮らしを守るやさしい除雪を

町長 実態を捉えながら検討したい



▶3月中旬を過ぎても続く除雪

問 ① 町民が西川町に長く住み続けるためには、雪対策が重要な課題だ。そのためには、公道の除雪の時に、玄関先に雪のかたまりを置かないなどのやさしい除雪体制をとるべきだ。また、高齢者等の家の周りの雪片付けに重機を使用した時は、雪おろしと同様に半額助成をすべきだと思ふがどうか。きめ細かな雪対策を。② 2月9日に国道112号線で雪崩が発生し、通行止めになったが、町の危機管理としての対応は。

答 ① 降雪の状況や圧雪の状況にもよるが、玄関前に雪を残さない、やさしい除雪を心がけている。流雪溝の整備や高齢者世帯等の除雪支援も含め、総合的な雪処理について検討し改善を図っている。雪下ろしだけでなく除排雪も補助対象としているが、手作業分の単価だ。重機使用に対する補助制度はないので各地区の実態を捉えながら検討したい。② 国道維持出張所から報告を受けたが、住民の生命に関わる緊急性はないと判断したので特段、住民への周知はしなかった。

町長 実態を捉えながら検討したい



奥山 敏行 議員

総合計画 『キラリ月山』の町づくりデザインは

町長 各プロジェクトを推進する中でいかしていく



▲復活された三山音頭

問 第6次総合計画の基本計画の中に「リーディングプロジェクトの政策推進」はどのように進めるのか。また、「まちづくりデザイン戦略会議設置」はどのくらいの期間で立ち上げ、どのように進めるのか。町はどのようにリードしていくのか。進める中で、総合政策審議会の学識経験者からだけでなく、民間のいろいろな分野の方からの意見も取り上げて、議論してもらいたい。

答 7つのリーディングプロジェクトの運営体制は、副町長をトップに関係課長等で構成し、目標達成のための主要事業の進み具合を確認できるようにしていく。必要に応じて総合政策審議会委員の専門的な指導も受けるようにしていく。まちづくりデザイン戦略会議は、今年度の設置予定はないが、まちづくりデザインの情報発信は、まちづくり施策のうえで大変重要なことだと捉えており、各プロジェクトを推進する中でいかしていく。まちづくりは、より多くの町民の皆さんに参加してもらえようとする。

町長 各プロジェクトを推進する中でいかしていく

追跡調査 part ⑤

町民体育館の検討状況を追う



▲町民体育館



▲はがれ落ちている壁面



▲トタンの一部が落下しそうな屋根

町民体育館建設に係る総合検討表

平成23年12月の説明

	階数	面積 m ²	全体事業費	うち一般財源
耐震リニューアル	3階	3,406	5億5,069万円	1億9,259万円
新築	2階	2,595	5億2,595万円	5,793万円

平成26年3月の説明

	階数	面積 m ²	全体事業費	うち一般財源	構造
耐震リニューアル	3階	3,406	6億4,266万円	2億4,494万円	
新築	2階	3,362	13億8,944万円	8億2,922万円	鉄筋コンクリート
			18億3,541万円	12億3,541万円	一部木造
			28億9,932万円	22億9,932万円	全木造

町は、町民体育館の耐震対策についての検討をしています。議会に対する説明と対応の経過は次のとおりです。

◆平成23年12月
体育館の新築が5億2千万円、耐震リニューアル（補強改修）が5億5千万円であったので、議会では新築の方向性が妥当だろうという結論に達し、25年度の予算で設計委託料の3千300万円を可決しました。

◆平成25年9月
体育館新築の基本設計結果の報告があり、資材の高騰などを理由に9億円という金額が示されました。しかし、9億円には付帯工事や消費税のアップ分等が含まれていませんでした。議会では、面積や金額が大幅に変更されていることから、総合的に検討できる資料の提出を求めました。

◆平成26年3月
3月11日に資料提出と説明がありました。新築工事の金額は13億円を超えていました。また、当初の体育館新築案では隣接して多目的施設（屋内ゲートボール場）の建設が予定されて

いましたが、3月の説明では交流センター大ホールの上増設することなども検討しているという話もありました。

化もあり、急ぎ検討が必要な状況でした。財政面はもろろんのこと、町民のみならずにとってより良い方法を総合的に判断するために、総務厚生常任委員会では直ちに調査を実施することにしました。

新エネルギー 再生可能エネルギーを積極的にいかすべき

町長 木質バイオマスエネルギー産業興しに取り組みたい



横山 修 議員



▲最上町の木質バイオマスボイラー

問 ① 町は、平成12年から数年かけて小水力発電の調査を行い、平成17年度には新エネルギービジョンを策定した。その後も調査を行なっているが、いまだ、新エネルギーと言われる地域資源活用型再生エネルギーの実用化がなされていない。これまで調査に要した経費はいくらか。

② 今後再生可能エネルギーを実用化するか。その際の資源を重点とするのか。

③ 県の「森林ノミクス」宣言に対して、町はどう対応するのか。

答 ① 平成12年の小水力発電は経費の観点から断念。平成17年は、地球温暖化対策の一環として新エネルギービジョン策定が施設整備の補助を受ける前提条件だったので策定した。当時、町内の清掃業者が、廃食油を業務車両の燃料に使用することで補助を受けたが、エンジンの故障や冬期は低温で精製ができないなどで、平成24年度で中止した。調査費用は、合計で1千400万円。うち補助金が900万円。

② 木質バイオマスエネルギー産業興しに取り組みたい。

③ 県の事業は、積極的に活用していく。

議会の動き

- 議会全員協議会
 - 1月14日 今後の議会活動
 - 2月17日 平成26年度予算案
 - 3月11日 総合計画実施計画等
- 議会運営委員会
 - 2月21日 第1回定例会の運営
- 総務厚生常任委員会
 - 1月14日 事務調査「町立病院経営」
 - 2月7日 事務調査「高齢者住宅建設」
 - 3月12日 請願審査
 - 3月27日 事務調査「町民体育館現地確認」
- 産業建設常任委員会
 - 1月14日 事務調査の進め方
 - 1月27日 事務調査「月山銘水館周辺リニューアル」
 - 2月12日 町内企業訪問「銜玉谷製麺所ケーシーフレム(株) 請願審査
 - 3月12日 請願審査
- 広報公聴常任委員会
 - 3月12日 レイアウト会議
 - 3月20日 議会だより編集会議
 - 3月28日 議会だより第1回校正
 - 4月2日 議会だより第2回校正
 - 4月4日 議会だよりアドバイザー指導
 - 4月8日 議会だより第3回校正

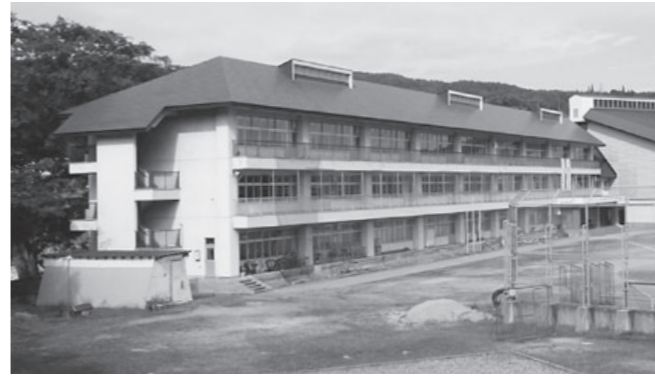


事務調査報告を議会で行いました

1. 月山朝日観光協会のあり方



役場2階にある
行政と一体化している観光協会▶



◀築30年目となる西川中学校校舎

- 1. 町立病院の診療体制
- 2. 小中一貫教育の現状

町立病院の診療体制 及び経営状況と今後の 対応

平成25年度は、医師が1名減となったことで、総合診療科体制で運営を行なったが、外来と入院の患者数は昨年より減少した。

平成26年度に向けた医師の確保と病院経営改善の努力は認められる。一方、病院に対して町民から苦情や要望等が数多く寄せられていることから、町民の声に耳を傾け、町民の掛かりつけの病院として、また救急病院として信頼される体制や運営の強化を望む。

また、小児科は西村山地区では数少なく、夜間は山形市まで行かなければならない。この問題は西川町だけで解決できないので、広域的に連携を図った小児科の医療体制の確立が望まれる。

小中一貫教育の 現状

西川町は、平成24年度から小学校も1校になったことで、町の特性をいかした小中一貫教育を推進している。

小中一貫教育の体制には、施設一体型、併設型、分離型があり、本町は分離型となる。昨年10月に長野県信濃町の信濃小中学校を視察したが、施設一体型の一貫教育を実施しており、大きな成果を上げていた。

第6次総合計画では、施設一体型の小中一貫教育には触れてはいないが、年々出生者数が減少している中、今後とも検討していくことが重要だ。



高齢者住宅の建設

町が昨年2月に検討を終了するとしていた高齢者住宅建設基本方針について、総務厚生常任委員会で調査した結果、進め方に問題があったために、昨年2月に議会の総意として8項目について検討するように申し入れを行いました。

今年3月11日に、議会に方針の説明があり、確認した結果、ニーズ調査の実施や生活相談員の常駐、食事の提供、趣味や生きがい活動の支援等のサービスを行うなど、昨年議会が申し入れをした8項目全てが検討され、いかさされていきました。

高齢者住宅は、2階建て24室で、工事の着工は平成27年度に行い、28年度には入居が開始されます。

調査の目的

町にとってきわめて重要な観光産業を推進するためには、観光行政を担う行政組織体制と、民間活力を高めるための観光協会組織体制の在り方が重要であることから調査を行なった。

調査の結果と意見

観光協会の事務局を町の職員が兼務しており、行政と民間の役割が混同している状況にある。

新たな観光資源の発掘や観光エリアの整備などを進めながら民間支援を行う行政の役割と、営業活動に直結する誘客拡大のための活動を行う民間組織である観光協会の役割は本質が異なるので、活動を分離することが望ましい。

①観光事業の整理

行政と観光協会がそれぞれ

②町職員の兼務体制の見直し

観光協会の事務局長を商工観光課長が兼務してきたが、課長の在任期間は短い。観光協会の安定した事業運営の観点から、事務局長は観光協会職員の就任が望ましい。

③観光案内窓口と観光協会事務所の設置場所

また、商工観光課の全職員が、観光協会事務局として兼務発令を受けているが、町と全く同一化した組織体制では、観光協会会員の自立性や観光協会の主体的な活動を阻害する可能性もあるため、兼務体制の見直しを行うことが望ましい。

④観光協会の運営に係る予算

観光協会の運営に係る費用は協会が調達することが本来の姿ではあるが、独立した運営ができるようになるまでは、町が支援する必要がある。



西川中学校 卒業式



▲仲間との最後の合唱

▲緊張したあ

議会へのおさそい

皆さん傍聴してみませんか

インターネットでも
ご覧いただけます

次回定例会は 6月です



▲卒業後もがんばります



▲また会おうね

議会だよりは、アドバイザリーやモニターなど多くの皆さんの協力をいただきながら編集しております。今後ともよりよい広報誌となるよう精進してまいります。

▶入選した第85号



審査結果
◆特選 庄内町議会
◆入選 一席 西川町議会
二席 西川町議会
三席 山辺町議会
四席 大石田町議会
五席 金山町議会

広報コンクール 入選

編集後記

今年の冬は4年連続の大雪となった。しかし昨年までのように毎日が連続した雪降りとは違い、今年の雪は少しやさしく感じる事ができた。朝庭先に出て、今日は除雪の必要がないとなると得した気分になったのは私だけではないだろう。

それにしても最高積雪は、海味で112cm、志津で58cmと雪国の厳しさを物語っている。日本一と思われる道路の除雪体制に加え、冬の暮らしを快適にするための除雪ボランティアなどが充実し、特に高齢者の暮らしを守る体制ができていくことはうれしいことである。

「おたがいさま」のところが地域を守る力になることの大切さと、議会としての役割の大きさを強く感じている。
(佐藤幸吉)

《発行・編集責任者》

議長 井場 榮治

《編集委員》

委員長 横山 修

副委員長 佐藤 耕一

委員 伊藤 哲治

委員 佐藤 幸吉

●ご感想をお寄せください。